

照会先：厚生労働省健康局疾病対策課

担当：関山、菊岡、荒木

電話：03-5253-1111 (2350,2353,2354)

03-3595-2249 (直通)

平成17年3月7日

本日、厚生科学審議会疾病対策部会クロイツフェルト・ヤコブ病等委員会（委員長 北本 哲之東北大学医学部教授）が開催され、同委員会より別添のとおり審議結果がまとめられた。

（添付資料）

- 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に係る感染経路について（概要）
- 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に係る感染経路について

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に係る 感染経路について（概要）

平成 17 年 3 月 7 日

厚生労働省健康局疾病対策課

1. 調査方法及び調査結果

平成 17 年 2 月 4 日に v C J D の確実例と判断して以降、御家族及び主治医等へのヒアリング調査、御本人のパスポート及び出帰国記録による渡航歴の確認、により、以下の主な調査結果が得られた。

- 1990 年前半に、v C J D 患者発生国である英国に 24 日間程度、フランスに 3 日間程度滞在。
- 国内の食生活及び英国での食生活ともに、牛由来食品の喫食があった。なお、英国において摂取したとされる食品の中に、v C J D の発生原因である可能性が指摘されている、MRM（機械的回収肉）を含有している食品に該当するものが含まれていた。
- 手術歴、輸血歴、歯科治療歴、鍼治療歴等は無かった。

2. 検証

v C J D の感染経路については、① B S E 牛の経口摂取、② v C J D 患者の血液による感染、③ 観血的な医療行為等に伴う感染、が考えられるため、以下の点について検証した。

- 1) ②や③については、考えられる主要な感染経路を調査した結果、これらを経路とした感染の可能性は、ほぼ無いものと判断された。
- 2) ① B S E 牛の経口摂取の可能性
 - 1990 年当時のフランスにおける曝露の可能性、日本における曝露の可能性は否定できないが、v C J D 患者発生の曝露リスクの一つの目安として、B S E 牛の頭数が最も多い 1990 年当時の英国における曝露リスクは他国より相対的に高いと判断される。
 - B S E 牛の経口摂取の可能性の検討については、v C J D の発症閾値の存在が考えられるものの、限られた情報の下で検討するため、B S E 牛を経口摂取する蓋然性の検討となり、「牛由来食品の食事回数とその量」並びにその牛由来食品が B S E 牛由来であるかは供給元である「B S E 牛の頭数」と関係すると思料される。

このようなことから、英国滞在時の曝露の可能性が最も高い説明力を有する。

3. まとめ

感染経路の厳密な特定は、曝露が疑われる期間から既に長期間が経過しており、情報が限られていることなどから困難であるが、いずれの感染経路が最も高い説明力を有するかを検討した結果、上述の情報に基づけば、他の可能性を完全に否定するものではないものの、英国滞在時の曝露の可能性が有力、との判断に到った。

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に係る 感染経路について

平成17年3月7日

厚生科学審議会疾病対策部会

クロイツフェルト・ヤコブ病等委員会

平成17年3月5日に開催された、C J Dサーベイランス委員会における調査・検討の結果を踏まえ、厚生科学審議会疾病対策部会クロイツフェルト・ヤコブ病等委員会（以下、「委員会」という。）として、標記について、以下のとおりとりまとめた。
なお、二次感染調査については、引き続き行っていくこととしている。

1. 調査方法

平成17年2月4日にv C J Dの確実例と判断して以降、感染経路を把握するため、以下の調査を実施した。

- ・ 御家族及び主治医等へのヒアリング調査
- ・ 患者御本人のパスポート及び出帰国記録による海外渡航歴の確認

2. 調査結果

1) 海外渡航歴の状況

御家族へのヒアリング、患者御本人のパスポート及び出帰国記録の調査から、次の内容が確認された。

- 1990年前半に、v C J D患者発生国である英国に24日間程度、フランスに3日間程度、v C J D患者非発生国に2週間程度滞在。
- 1976年～1979年にかけて、v C J D患者非発生国への渡航歴がある。

2) 食生活について

御家族へのヒアリングから、次の内容が確認された。

① 国内の食生活

- 偏食は無かった。外食は少なく、和食中心の家庭料理がほとんどであった。
- 牛肉の摂取は月に2～4回程度。なお、家庭料理では内臓を用いた料理は無かった。

② 海外渡航当時の食生活

ア 英国

- 朝食は、日本食が多く、昼食・夕食は主に現地食。
- 地方の庶民料理を好む。キドニーパイ、ローストビーフ、ブラックプディング、カレー、ソーセージ（豚又は羊）、ハンバーガー、グレイビーソ